



Vol.42

令和2年12月21日

討議資料

浜松市議会議員

ひらま通信



令和2年 第4回浜松市議会定例会報告

コロナ禍の影響で例年とは違った年末年始をお迎えのことと思います。忘・新年会などのイベントが中止となり、人との交流が失われていることに加え、ふるさとへの帰省を取りやめ、ご親族やご親戚に顔を合わせることができない方も多いのではないのでしょうか。2021年は様々な団体のイベントや、浜松まつり、東京オリンピック・パラリンピックなどが感染対策を講じながら安全に開催されることを期待したいと思います。

さて、第4回浜松市議会定例会の議題では私たち議員と、市職員の給与や賞与の引き下げが議決されました。市職員の賃金は各自治体ごとに地域企業の平均賃金が反映されます。多くの自治体の引き下げが0.05月分であるのに対し、浜松市の引き下げは0.1月分でした。このことから、市内企業の厳しい状況が伝わります。

一方で浜松市は、感染拡大防止と経済活動の両立を行う「デュアルモード社会」を構築していますが、様々な企業の支援を行うと共に、起業しやすい環境整備、都市部からの企業誘致や移住を促進するための街づくりを進めています。

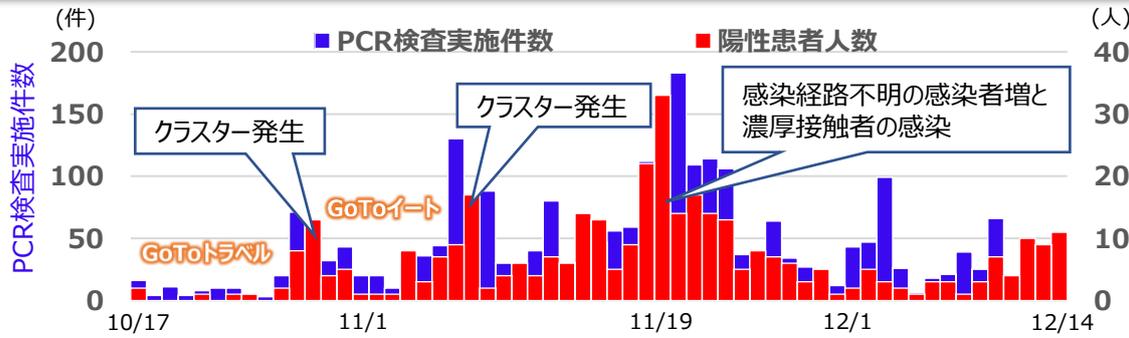
私は次回定例会にて、市民クラブを代表して質問を行います。浜松市の持続的な発展に向けた8項目の質問を予定しています。事前に皆さまへ質問予定項目を公表し、ご意見・ご要望などを賜りたく思いますので、裏面をご参照いただき連絡をよろしくお願ひします。

結びに、寒い季節、健康には十分留意され、明るい新年が迎えらることを祈念申し上げます。



浜松市災害バイクボランティア悪路走行訓練

■ 浜松市内における直近の新型コロナウイルス感染症状況(10月17日～12月14日)



Citrus Ribbon
 「シトラスリボンプロジェクト」
 コロナ禍で生まれた差別、偏見を無くし「ただいま」「おかえり」の気持ちを広める活動

■ 11月補正予算の主要事業(一部抜粋)と2021年浜松市の方向性

■ 「ビーチ・マリンスポーツ推進事業」

「事業内容」
 ・地質調査
 ・諸施設の検討、設定
 ・概略構造図作成
 ・概算工事費算出

令和6年7月供用開始予定

■ 「フィルムコミッション推進事業」

「ゆるキャン△」を活用した観光誘客



聖地巡礼



絶景



グルメ



観光

令和3年1月テレビ放送開始予定

□ 浜松戦略計画2021

● 重点テーマ

デュアルモード社会の構築

※デュアルモード社会(新たな常識)とは

パンデミックの襲来時、感染拡大防止と社会経済活動の両立を「モード」を切り替えることで混乱なく実現する。

- ・平常時 ⇒ 「経済モード」
- ・パンデミック襲来時 ⇒ 「安全モード」

● 項目

若者がチャレンジできるまち

子育て世代を全力で応援するまち

持続可能で創造性あふれるまち

基本方針はこちらから



● 施策(一部抜粋)

社会移動の均衡

地元産業力の強化

労働・雇用環境整備

各種医療費支援、施設整備

ICT教育推進体制構築

医療提供、検査体制強化

オンライン申請/決済の整備

立地適正化、既存土地利用

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

■ 次回浜松市議会定例会代表質問に向けて 後援会員、組合員よりご意見・ご要望を募集！

令和3年3月10日(水)11時より代表質問に登壇します！

下記8項目より質問を予定していますが、皆さまのご意見・ご要望を質問に反映していきたいと思っております！



● 10万人あたりの人身交通事故件数
政令市ワースト1脱却に向けて

- ・ホンダのインターナビを活用した走行ビックデータ(急ブレーキ、平均車速データなど)による事故防止対策
- ・自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車」の普及促進
- ・人口規模や車両保有台数が浜松市と同じ新潟市はなぜベスト1なのか？

● 森林環境贈与税の使い道

- ・天竜材(FSC認証材)の利用、販路拡大として林業費ゼロ自治体をターゲットにセールス実施
- ・台風による倒木被害を予防するため樹木の予防伐採の推進
- ・街路樹植え替え(ムクドリ対策)

● デジタル技術やデータの活用による市民生活の快適化

- ・AI、ICTなど先端技術やデータ活用などデジタルの力を最大限に活かし都市づくりや市民サービスの提供を加速させ、区役所に行かなくても良い体制を整える

● ローカル5G導入による中山間地域の活性化

- ・地域限定の高速通信規格を設ける免許を取得し、中小企業やスタートアップ企業などに開放することで企業誘致の促進や移住者の増加、中山間地域の活性化を図る
- ・スマート農業、MaaS推進



● 悪臭規制

- ・排水路付近から漂う悪臭などについて条例制定を提言

● 公文書管理及び遊休施設の活用

- ・廃校になった校舎、体育館などの遊休資産や協働センターで保管する歴史的公文書を一元管理し、市民が有効活用できる公文書管理館を設置(設置により空いた施設は市民団体や企業にて有効活用)

● 浜松市域RE100の推進

- ・電気自動車を蓄電池として使うV2Xの普及促進のため創エネ、蓄エネ補助を電気自動車にもV2H施設導入時にセット適用

※V2X=車と何か(車、人、インフラ、ネットワーク)との接続や相互連携を図るコネクテッド技術

※V2H=「車から家へ」の意味

電気自動車に蓄えた電力を家庭で使う考え方

● 浜松版MaaS構想

- ・持続可能なモビリティサービスとして自動運転技術を活用し買い物や病院に人が行くのではなく移動店舗やオンライン診療など必要なサービスをモビリティが運んでくる社会の構築



電話またはお近くの組合役員へご連絡ください。多数のご意見・ご要望をお待ちしています！
当日はコロナ禍対応として議会傍聴ができませんのでインターネット中継よりご覧ください！⇒



■ 令和2年10月～12月活動紹介(一部抜粋)



本田労組T/M製造部語る会



ユタカ技研労組豊分会語る会



全本田労連静岡地協幹事会



未来へはばたく会政治研修会



本田労組細江船外機工場語る会



ひらま通信手配り配布



本田労組浜松支部研修



全本田労連静岡地協役員ゼミ

【編集後記】

ひらま通信vol.42は新型コロナウイルス感染症状況や11月補正予算の主要事業、次回代表質問項目などについてお届けしました。今後も皆さまの声をいただきながら、親しみやすく、活動内容が分かりやすい紙面づくりに邁進します。次回の「ひらま通信」もご期待ください。

全国本田労働組合連合会 静岡地方協議会
議長 高橋 淳一郎

〒433-8501 浜松市中区葵東1-13-1
(TEL) 053-436-5924

SNSで情報を発信しています

